

令和5年度 事業報告

令和5年4月1日～令和6年3月31日

一般財団法人 飛騨地域地場産業振興センター

令和2年4月に新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナ）の感染拡大に対する緊急事態宣言が発出され、3年間で8回の感染拡大と縮小を繰り返し、経済活動の変化や国民生活の行動変化に大きく影響をもたらしました。

令和5年5月に新型コロナが5類感染症に移行し、行動制限等の影響を受けていた旅行・観光関連産業が徐々に回復の兆しをみせ、高山市の令和5年の観光入込数は、407万2千人となり前年比132%、新型コロナ前のピーク時（平成31年）に比べ86%まで回復しました。

このような情勢の中、当財団では、令和4年9月にとりまとめた経営の「検討結果とりまとめ」に基づいた事業の見直し、目標設定により事業を実施しました。特に、喫緊の課題となっている飛騨地域の伝統工芸職人の後継者の確保に対処するため、新規事業として「伝統工芸後継者育成インターンシップ事業」に取り組み、一位一刀彫の技術に由来する飛騨木彫の後継者を確保することが出来ました。また、前年度より始めた当センター1階ギャラリーでの「飛騨ものづくり展」を3回開催し、市民や観光客に飛騨のものづくりの技とところを伝え、来館者の増加に結びました。

令和5年度に実施した主要事業の概況は、次のとおりです。

I. 公益目的事業

1. 地場産品展示・普及事業

(1) 飛騨・暮らしの工芸品展示会事業

①実施目的

飛騨地域には、伝統的工芸品（飛騨春慶・一位一刀彫）の他にも、陶磁器・木工・紙製品・ガラス・布製品・染物・竹細工など数多くの優れた工芸品が作られており、全国的知名度・認知度を高めるため、積極的なPRが必要であることから、これら工芸品の良さを広くPRするための展示会を実施した。

②実施期間 令和6年2月29日（木）～3月5日（火） 6日間

③実施場所 兵庫県神戸市中央区三宮1-10-1

さんちかホール（約250㎡）

④出展者数 5社

⑤展示内容 ア. 工芸品展示コーナー

飛騨春慶、一位一刀彫、陶磁器、布細工、鉄工製品、竹細工、和紙、ガラス、わら細工、木工小物、木工家具 等

イ. 観光・工芸品パンフレットコーナー

⑥来場者数 1,490人

(2) 飛騨の伝統的工芸品展

①実施目的

飛騨地域の代表的工芸品である飛騨春慶、飛騨一位一刀彫及び陶磁器（小糸焼・渋草焼）を、観光客・市民に向け広く紹介することで、伝統的工芸品の魅力の再発見、販路拡大につなげることを目的に実施した。

②実施期間 令和5年11月1日（水）～7日（火） 7日間

9：00～19：00

（展示は、11月30日まで常設展示として継続）

③実施場所 飛騨高山まちの博物館

高山市上一之町75

④展示内容 飛騨春慶、飛騨一位一刀彫、小糸焼、渋草焼芳国舎 69点

⑤来場者数 1,442人

(3) 地場産品普及開拓事業

①実施目的

飛騨地域の伝統的工芸品・郷土工芸品の普及と販路開拓を目的に、首都圏において展示会を実施した。

②実施期間 令和5年12月8日（金）～21日（木） 14日間

11：00～19：00

（初日は12時から／最終日は18時まで）

③実施場所 伝統工芸青山スクエア

東京都港区赤坂8丁目1番22号

④出品内容 6工芸品

飛騨春慶、一位一刀彫、渋草焼芳国舎、小糸焼、小屋名しょうけ、飛騨染

⑤来場者数 3,002人

(4) 飛騨ものづくり展

①実施目的

飛騨地域の優れたものづくりのPRを目的に、地場産センター1階 匠&クラフトギャラリーにおいて企画展を3回（第3回、第4回、第5回）実施した。

②実施場所 飛騨地域地場産業振興センター

飛騨・匠&クラフトギャラリー

③実施内容 ア. 第3回 飛騨ものづくり展

テーマ：漆・JAPAN

実施期間：令和5年5月13日（土）～8月20日（日）

100日間

内容：飛騨の漆をテーマに企画展を実施した。

出品者：8社

来場者数：2,412人

イ. 第4回 飛騨ものづくり展

テーマ：ガラスと見る飛騨の風景

実施期間：令和5年9月9日（土）～12月17日（日）
100日間

内容：飛騨のガラスをテーマに企画展を実施した。

出品者：7社

来場者数：2,377人

ウ. 第5回 飛騨ものづくり展

テーマ：みんなで願う飛騨の雛まつり

実施期間：令和6年1月20日（土）～3月31日（日）
72日間

内容：飛騨の雛まつりをテーマに企画展を実施した。

出品者：7社

来場者数：1,322人

④来場者数（3回合計） 6,111人

2. 地域人材確保・養成事業

(1) 飛騨地域ものづくり技能向上研修

①実施目的

飛騨地域には、伝統工芸を始めとして、多くの優れた技や技術が蓄積されており、次の世代へ引き継がれることが重要である。家具や木工の若手を対象に、第一線の職人から直接指導してもらうことで、技能の向上・ものづくり意識の啓発を目的に実施した。

②実施期間

令和5年8月23日（水）～12月4日（月）

③研修内容

ア. 板物（留付）（13名が2回研修。延べ2回・26名）

飛騨春慶の木地の一つである板物（留付）の制作を通し、伝統工芸における木地加工の基礎を習得した。

課題 <六角小鉢、弁当箱>

カンナの調整、木地加工、底板入れ

講師 小鳥春慶木地製作所 小鳥 昇一 氏

参加者 13名

イ. レザークラフト（2組（5名1組）が6回研修。延べ12回・60名）

革製品の制作工程を通し、革の基礎知識及び革加工技術の基礎を習得した。

課題 <コインケース>

革のカット・穴開け・縫い合わせ・ホックの取り付け

講師 レザークラフト 北川 侃奈 氏

参加者 10名

ウ. 椅子張り（10名が1回研修。延べ1回・10名）

椅子のデザイン性や座り心地を左右する椅子張りの基礎を習得した。

課 題 <ボウズ張り、布バネ張り(座学)>

裏張り、生地・ウレタンカット、ボウズ張り

講 師 とらまめ 北奥 美帆 氏

参加者 10名

エ. 木彫(2組(7名1組)が6回研修。延べ12回・84名)

屋台彫刻や寺社建築の装飾にも使われる木彫の基礎を習得した。

課 題 <イチョウの葉皿>

粗彫り、中彫り、仕上げ彫り

講 師 小坂彫房 小坂 礼之 氏

参加者 14名

※4種類の研修に参加した人数等

・実人数 47名

・延べ回数 27回

・延べ人数 180名

(2) 伝統工芸後継者育成インターンシップ事業

①実施目的

飛騨地域の伝統工芸は、職人の高齢化と後継者不足が課題となっているため、伝統工芸の後継者を育成するためのインターンシップ事業を実施した。

②実施内容

国の伝統的工芸品に指定されている「一位一刀彫」の流れを汲む「小坂彫房」の彫刻師の研修生採用を目的とした1泊2日のインターンシップを実施。

ア. 応募数 34名

イ. 一次選考(書類選考) 11名選定

ウ. 二次選考(オンライングループ面談)

・実施日 令和5年9月14日(木)・15日(金)

・参加者 10名

・インターンシップ参加者6名を決定

エ. インターンシップ及び面接会実施

・実施日 令和5年10月3日(火)・4日(水)

・実施場所 小坂彫房(見学、仕事体験)、ミュージアム飛騨(見学)、
地場産センター(座談会、面接会)

・参加者 5名

オ. 成果 研修生1名誕生

3. 地場産業活性化対策事業

(1) 飛騨の味まつり

①実施目的

飛騨地域で生産される食料品を広く紹介し、「飛騨の味」の需要促進と販路拡大を図ることを目的に、春と秋の2回(第70・71回)実施をした。

②実施内容

<春>

- ア. 実施期間 令和5年6月3日(土)・4日(日) 2日間
- イ. 実施場所 飛騨高山まちの体験交流館 交流広場
- ウ. 出店者数 24 (高山市 13 飛騨市 4 下呂市 1
白川村 1 飛騨地域 2 その他 3)
- エ. 来場者数 8,853人

<秋>

- ア. 実施期間 令和5年9月30日(土)・10月1日(日) 2日間
- イ. 実施場所 飛騨高山まちの体験交流館 交流広場
- ウ. 出店者数 24 (高山市 15 飛騨市 3 下呂市 2
飛騨地域 1 その他 3)
- エ. 来場者数 10,157人

(2) 親子伝統的工芸品体験教室

①実施目的

飛騨地域の代表的工芸品である一位一刀彫を実際に体験してもらうことで一位一刀彫への理解を深め、ものづくりへの関心を高めてもらうため、夏休みを利用して親子による一位一刀彫の体験教室を実施した。

②実施日 令和5年7月29日(土)

③参加者 14組 28名

(3) 地域活性化促進事業

下記の事業に負担金を支出し、支援を行った。

- ・飛騨高山観光客誘致推進事業

4. 地場産業販路開拓事業

(1) 飛騨のクラフト販路開拓事業

①実施目的

飛騨地域に育っているクラフト制作者(飛騨のつくり手の会、飛騨の木工房の会)の作品を広く紹介し、需要を促進することによりクラフト制作が集積された産業として進展することを目的に実施した。

②実施期間 令和5年10月21日(土)～25日(水) 5日間

③実施場所 飛騨・世界生活文化センター 高山市千島町900-1 飛騨の家具フェスティバルに出展

④出展者数 19社

⑤来場者数 5,586人

5. その他の事業

(1) 「2023 飛騨の家具フェスティバル」

飛騨の家具フェスティバル実行委員会の実施した事業に、後援団体として

事業の推進に協力した。

- ・主 催 (協) 飛騨木工連合会
- ・開催期間 令和5年10月21日(土)～25日(水) 5日間
- ・来場者数 34,900人

II. 収益事業の状況

1. 地場産会館運営事業

(1) Wi-Fi 設置工事

- ・施工者 有限会社 M・E トーク 代表取締役 水野義治
- ・工事費 423,500円
負担内訳：地場産センター 338,800円
高山商工会議所 84,700円
- ・工事日 令和5年8月23日
- ・規格等 3階・4階・5階のインターネット利用に対応

(2) 施設利用状況

令和5年度の諸施設の使用状況は、下表の通りです。

延べ利用回数 604回 (前年比 1回減)
施設利用料収入 4,469,080円 (前年比 872,311円増)

単位：円

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
施設利用料	3,796,849	2,549,989	3,572,415	3,596,769	4,469,080
利用回数	651	423	484	605	604

[コロナによる貸館業務の停止及び時間短縮状況等]

- ・第4波 令和3年4月26日～6月20日 (56日間) 貸館業務の時間短縮
- ・第5波 令和3年8月27日～9月30日 (35日間) 原則貸館業務の停止
- ・第6波 令和4年1月21日～3月6日 (45日間) 貸館業務の時間短縮
- ・第7波 令和4年7月15日～9月30日 (78日間) BA.5対策強化宣言
- ・第8波 令和4年12月23日～令和5年2月5日 (44日間)

医療ひっ迫防止対策宣言

◎令和5年5月8日 新型コロナウイルス感染症 5類感染症に移行

2. 高山市営広小路駐車場管理事業

駐車場利用状況

令和5年度の駐車場の利用状況は、下表の通りです。

延べ利用台数 27,672 台 (前年比 3,965 台 減)
 駐車料金収入 13,208,630 円 (前年比 514,110 円 増)

単位：円

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
駐 車 場 利 用 料	13,684,900	7,933,440	8,294,650	12,694,520	13,208,630
利 用 台 数	34,935	26,919	26,154	31,637	27,672

※令和5年1月に精算機が更新され、利用台数のカウントが定期券等を除く台数となった。

Ⅲ. 管理事業の状況

1. 理事会・評議員会の開催

当センターの適正・円滑な運営を図るため、理事会・評議員会を開催した。

(1) 理事会

- ① 第1回理事会 令和5年5月29日(月)
 - ・主な審議内容 令和4年度事業報告及び決算報告の承認
- ② 第2回理事会 令和6年3月28日(木)
 - ・主な審議内容 令和6年度事業計画(案)及び収支予算(案)の承認

(2) 評議員会

- ① 第1回評議員会 令和5年4月1日(土)
 - ・主な審議事項 理事の選任(みなし決議)
- ② 定時評議員会 令和5年6月15日(木)
 - ・主な審議内容 令和4年度決算書類の承認
任期满了による理事及び監事の選任

2. 経営検討委員会の開催

- ① 第4回経営検討委員会 令和5年10月18日(水)
 - ・主な審議内容 令和5年度事業の進捗状況について